



第575号

令和7年9月1日

千鳥ヶ淵 戦没者墓苑奉仕会
公益財団法人
〒102-0075 千代田区三番町2
電話 03 (3261) 6700
FAX 03 (3261) 6712



http://www.boen.or.jp
郵便振替口座 00140-2-42556

編集人 中村 勤
発行人 槻木 新二



墓苑の花「紫蘭」

花言葉

「あなたを忘れない」

終戦80年 世代を超えた戦没者慰霊



墓前に菊花を手向け祈る参拝者

昭和20年8月15日の終戦の日から80年の歳月が経過した。ここ千鳥ヶ淵戦没者墓苑には8月14日、15日の両日猛暑の中、多くの参拝者が訪れ、先の大戦で亡くなった英霊に対し、菊花を墓前に手向け手を合わせていた。早朝の開苑から夕方までの閉苑まで参拝者の流れが絶えることはなかった。

全国戦没者追悼式の前日である14日は、多数の一般参拝者とともに宮崎県、大分県、福岡県、長崎県、青森県、京都府、佐賀県、石川県、鹿児島県、大阪府、北海道等の遺族会による参拝が行われた。15日には、日本武道館での全国戦没者追悼式に先立ち、石破首相をはじめ、福岡厚生労働大臣、浅尾環境大臣、中谷防衛大臣、林内閣官房長官及び新藤義孝衆議院議員らによる参拝・献花が行われた。この間、献花を終えた鈴木俊一奉仕会会長が石破首相はじめ各大臣の案内役を務めた。また多数の一般参拝者とともに兵庫県等の遺族会による参拝も行われた。



献花を終えた石破首相と鈴木奉仕会会長

歳月が流れ、終戦80年の節目の年が過ぎても戦没者慰霊は我々国民の強い誓いとして、世代を超えて継承していかねばならない。

令和7年 全国戦没者追悼式での石破首相の式辞

天皇皇后両陛下下のご臨席を仰ぎ、戦没者のご遺族、各界代表のご列席を得て、全国戦没者追悼式を、ここに挙行いたします。

先の大戦では、300万余の同胞の命が失われました。祖国の行く末を案じ、家族の幸せを願いながら、戦場に斃れた方々。広島と長崎での原爆投下、各都市への空襲並びに艦砲射撃、沖縄での地上戦などにより犠牲となられた方々。戦後、遠い異郷の地で亡くなられた方々。今、すべての御霊の御前にあつて、御霊安かれと、心よりお祈り申し上げます。

今日の我が国の平和と繁栄は、戦没者の皆様の尊い命と、苦難の歴史の上に築かれたものであることを、私たちは片時たりとも忘れません。改めて、衷心より、敬意と感謝の念を捧げます。未だ帰還を果たされていない多くのご遺骨のことも、決して忘れません。一日も早くふるさとにお迎えできるよう、全力を尽くします。先の大戦から、80年が経ちました。今では戦争を知らない世代が大多数となりました。戦争の惨禍を決して繰り返さな

い。進む道を二度と間違えない。あの戦争の反省と教訓を、今改めて深く胸に刻まねばなりません。同時にこの80年間、我が国は一貫して、平和国家として歩み、世界の平和と繁栄に力を尽くしてまいりました。

歳月がいかに流れても、悲痛な戦争の記憶と不戦に対する決然たる誓いを世代を超えて継承し、恒久平和への行動を貫いてまいります。未だ争いが絶えない世界にあつて、分断を排して寛容を鼓し、今を生きる世代とこれからの世代のために、より良い未来を切り拓きます。結びに、いま一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様にはご多幸を、心よりお祈りし、式辞といたします。

令和7年度 千代田区戦没者追悼式

7月13日、千代田区主催の戦没者追悼式がご遺族等関係者約210名の参列を得て行なわれた。夕暮れの墓苑上空に虹が掛かる吉兆にも恵まれ、九段中等教育学校吹奏楽部による式前演奏終了とともに午後6時30分、開式の辞の後、全参列者が起立する中、千代田区海洋少年団による篝火(かがりび)への点火が行われた。

戦没者への黙とう及び国歌斉唱に引き続き、樋口千代田区長、秋谷区議会議長及び吉川遺族会代表がそれぞれ追悼の辞を述べた。

さらに、令和6年度の平和使節団代表の女子中学生の川鍋花さんが『平和への決意』として、「今も世界のどこかで争いが続き、誰かが傷つき、苦しんでいます。私の両親や祖父母も、戦争を知らない世代です。世代交代とともに薄れていく記憶に抗い、私たち若い世代が戦争の悲惨



「平和への決意」を述べる川鍋花さん



墓苑上空に掛かる虹

さと平和の尊さをしっかりと受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さない責任があると感じています。(中略)『平和はあたりまえではない』この言葉を胸に刻み、平和使節団で得た学びを家族や友人に伝え、共に考え、次の世代へと正しく語り継いでいこうと思います。最後に、ふたたびこの惨禍を繰り返さないことを固く誓い、恒久平和を願って、平和への決意といたします」と力強く述べた。



妙智會教團 戦没者うら盆供養

7月14日、妙智會教團主催の千鳥ヶ淵戦没者墓苑うら盆供養が約350名の参列者のもと行われた。予想された降雨もなく午後1時、「玄題三唱」により式典が開始され、ブラスバンドが演奏する中、青年信徒男女16名による献灯献華献供の儀が粛々と行われた。

この後、宮本會長が入堂し、ご祈願、読経が厳肅に執り行われた。引き続きコーラス隊による唱歌「ふるさと」と「夕焼け小焼け」が奉唱された。

その後、宮本會長は六角堂前の中央に立ち、参列者全員に対して、「昭和100年、そして終戦80年に我々は人間として生をうけている。これには大きな使命がある。自分の国だけいい、そんな小さな根性では世界の平和は来ない。日本の戦没者のみならず世界中の戦没者も供養する平等の精神が必要である。また、日本とともに世界中の皆さんの安寧と幸せを願っていききたい」と力強い言葉で挨拶した。

また来賓代表として保松奉仕会理事長も挨拶を行い、その後全員が墓前で焼香して式典は終了した。

妙智會教團は戦没者墓苑が創建された翌年の昭和35年以来、毎年欠かさず、うら盆供養を行っている。



献灯献華献供の儀



挨拶する宮本會長

阿含宗関東別院 太平洋戦争戦没者供養 護摩法要千鳥ヶ淵万燈会

7月15日、阿含宗関東別院による太平洋戦争戦没者供養護摩法要「千鳥ヶ淵万燈会」が千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて参加者約460名で営まれた。

万燈は仏の智慧の象徴であり、御霊を成仏へと導く明かりとされている。本万燈会は、祖国日本のために尊い命を捧げられた、すべての戦没者の御霊に対して万燈を献じるとともに、ご英霊の安らぎを祈り、感謝の誠を捧げるために平成6年から執り行われている。

午後6時、全国の信者の思いを込めた万燈が点灯される中、導師清川靖法中僧正が入堂し式典が始まった。法要では国歌斉唱、喇叭保存会による「国の鎮め」の吹奏に続き、護摩法要が開始され、六角堂内では護摩が焚かれ、真つ赤な炎の中、真言が唱和された。

護摩法要の後、桐山靖雄開祖のこれまでの慰霊活動等を紹介した記録映画「千鳥ヶ淵に祈る―戦争犠牲者に捧げる安らぎと感謝―」が上映された。

来賓として奉仕会保松理事長が挨拶を行い、引き続き、祭主として導師清川靖法中僧正が「昨今の世界情勢を顧みると、ウクライナや中東地域においていまだ戦火がやむことがない。世界が一つにつながっている現代においては、その影響は世界中に及んでいる。このような時勢の中で戦没者の御霊を心

からご供養申し上げ、国土の安寧、世界平和を祈念することは大変重要なことと痛感している」と述べた。

その後、東京大衆歌謡楽団による鎮魂歌奉納として、昭和の懐かしい歌謡曲が歌われ、最後は参列者全員で「モンテンルパの夜は更けて」を合唱した。本会の終わりに喇叭保存会による鎮魂喇叭として「消灯」と「巡検」が奉納演奏され、法要は終了した。法要終了後、参列者全員による焼香が行われた。この法要はYouTubeでライブ配



導師清川靖法中僧正による護摩法要



万燈会の全景

信された。

終戦80年 日蓮宗戦没者追善供養 世界立正平和祈願法要

8月15日、日蓮宗主催の千鳥ヶ淵戦没者追善供養並世界立正平和祈願法要が約200名の参列者のもと執り行われた。

午前9時、法要は田中恵紳・日蓮宗宗務総長が墓前に着座して開始された。宗歌斉唱に始まり、道場偈、切散華、勸請、開経偈と続き、読経にあわせて参列者全員が焼香した。その後、修法、表白、唱題、回向、四誓、奉送と続き戦没者のご冥福をお祈りした。

法要の終わりに田中恵紳宗務総長より挨拶として「我々人類は、時に争い、傷つけ合うこともありすが、一方で、救い合い、慈しみ合い、和解へと導く力も持ち合わせています。もしすべての人々が国や文化、思想の違いを超え互いを思いやる心を持つことができれば、恒久なる平和への大きな一歩となるに違いありません」と述べた。

最後に来賓挨拶として保松奉仕会理事長の挨拶で本法要は終了した。



戦没者の冥福を祈る田中総長 (右端)

懸賞小論文

【佳作】 慰霊の心を若者にどう伝えるか

保護司 70歳 光永 邦保

1 はじめに
平成27年から2期8年にわたり熊本市議会議員をつとめた際、某NPO法人を介して、大学生インターンシップ活動のお手伝いをした。春と夏の年2回、4〜5人の学生をあずかり百時間ほどの学びの場を提供するものだ。内容については、自衛官としての経験を生かし、地方政治の仕組みだけでなく、国家安全保障、自衛隊の活動などを取り上げ、駐屯地の研修や戦没者慰霊祭などへの参加の機会も設けた。心掛けたのは意見を押し付けるのではなく、事実を知らしめ自ら考えてもらうことである。延べ百人を超える学生と接することで得られた経験を踏まえながら述べたいと思う。

2 戦後の平和教育がもたらした考え
戦争や慰霊を考える時に、戦後行われてきた平和教育の検証は避けて通れない。その教えを一言で表現するならば「この世に人の命と平和ほど大切で尊いものはない」ということであろう。同時にそれは「戦争の悲惨さを思い、これを徹底して排除すること」だと教えられている。小中学校における平和学習がまさにそうである。文部科学省の学習指導要領によれば「戦争によってもたらされる惨禍や核兵器の脅威への理解、世界平和への考察を行うこと」が目的と記されている。

言い換えれば、平和の対局にあるのが戦争であり、戦争につながる手段・方法を徹底的に否定すれば平和に近づくという考え方である。

一方で「国旗及び国歌に関する法律」が平成11年に施行され、学校行事における混乱はなくなったが、国家の意義や

大切さに関する教育は十分とは言えない状況である。また日本国憲法において「我が国は国民主権である」とされているのに、「国家は国家権力となって暴走し、国民を苦しめるもの」と説明する学者も多数存在する。これでは国の歴史やあり方を主体的に考える発想が身につかないのではないだろうか。

慰霊の心を育てるためには、こうした一つ一つの問題を分かりやすく整理して考える機会を与えることが求められる。

3 平和への考え方をリセットするとき
では具体的にどうすればいいのか。私が必ず引用しているのはアメリカ独立戦争の指導者パトリック・ヘンリーの言葉である。彼は「奴隷のように縛られた状態では平和も人の生命も何の価値もなない。(中略) 我に自由を与えよ、さもなければ死を与えよ」と独立戦争への参加を呼びかけた。ここには二つの重要な意味が含まれている。

ひとつが、「自由」という平和の条件を明確にしていること。もうひとつが、平和は生命を賭けて戦わないと手に入らないということである。つまり戦争と平和は対立する選択肢ではなく、戦争を乗り越えた結果として平和をとらえているのである。戦後の我が国の平和教育とは大きく異なっている。

学生にはまずこの違いを理解してもらい、更にパトリック・ヘンリーが述べている「奴隷のような平和」についても考えてもらう。紹介するのは南モンゴル、ウイグル、チベットの現在の状況である。母国語が中国語に変わり、同一民族同士の間で結婚が制限され、平和の中でゆっくりと国や民族が消滅する様子を想像してもらおうのである。

このように平和についての考え方を別の基準に照らしてリセットすること。これが慰霊への正しい理解を得るための出発点になると考えている。

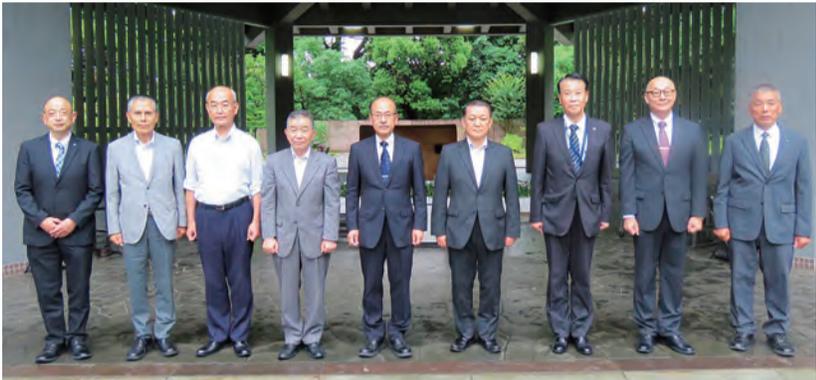
(第四面につづく)



東京都調布市遺族厚生会 6月5日



愛知県蒲都市遺族会 6月3日



洗心懇談会 6月11日



東京都小笠原村立小笠原中学校 6月11日



東京都中央区立月島第2小学校 6月20日



兵庫県神戸市遺族会連合会 7月3日



真言宗護國派法要 6月25日



桜晴れ清掃奉仕 6月29日



神奈川エクレシア 7月6日

各団体の慰霊参拝



神奈川県綾瀬市遺族会 7月15日



長崎県遺族会 7月14日



金光教 7月20日



千葉県柏市遺族会 7月15日



岡山県遺族連盟 7月16日

各団体の慰霊参拝

(第二面からつづく)

4 むすび

もちろん学生の受け止め方や反応は様々である。「平和のためなら、言葉や結婚相手の強制があっても我慢する」といった意見が飛び出して驚いたこともあるが、ほとんどの学生が正しく理解してくれたように思う。大切なことは、伝えようとする私たちの熱と努力を失わないことだろうと思う。

文末に学生から寄せられたレポートの一部を紹介する。

「思いは伝わる」ことを信じていきたい。

① 熊本県立大1年(当時) TYくん

学習を通じて、私たち国民は平和という言葉が少し勘違いしていると思った。平和は願いや祈りだけでは手に入れることはできない。平和を希求し、もはや日本にとつてなくてはならない存在の自衛隊を法で縛り上げて動きづらくするのは、平和から日本を遠ざける行為であると思う。

② 熊本県立大2年(当時) NHさん

中川州男大佐のペリリュー島のお話が印象的でした。戦争により、多くの方が犠牲になりました。昔の日本人が全員「人を殺したくて殺しているわけではもちろんない」ということを改めて知り、今の自分たちと何一つ変わらないのだと思えました。今、争いに巻き込まれることなく過ごしているのも、当たり前ではないのだと感じました。先人の方が過ごしたかった「平和」と呼ばれる時間を、先人の方のおかげで過ごせているのだと思います。

戦争体験世代や戦没者の関係者は高齢化し、慰霊に関する行事も年々減少している。いかに「戦没者慰霊の灯」を継承するのか。これは、国家や自治体はもちろんのこと、すべての国民が取り組むべき重要な課題である。特に年配者は若い人へ慰霊を伝え続け、慰霊を風化させないことが大切だ。そのため年配者は、まず戦没者慰霊の原点に立つて慰霊の意義を再認識し、慰霊風化への危機感を抱かねばならない。そして時代の変化に対応した新たな慰霊の取り組みを模索しつつ、若い人が慰霊に関心を抱くための新たな発想や若い人への積極的なアプローチが年配者に求められていると考える。

2 戦没者慰霊の意義

あらためて戦没者慰霊の意義を考える。戦没者慰霊は、国の命令で戦地に赴き、戦争で命を落とした日本人に対してその冥福を祈り、その魂を慰めるとともに、国家のために尊い命を捧げられたことへの感謝の気持ちと深い敬意を示すことである。また、平和の尊さや戦争の悲惨さ、その教訓を後世に伝え、同じ過ちを繰り返さないようにする役割もある。

忘れてならないのは、当時の戦没者の様々な思いだ。例えば、絶対生きて家族の元へ帰りたいとか、生まれ育った郷里や愛する家族を絶対守りたいとか、様々な思いがあったはずだ。現代に生きる我々は、戦没者の存在や苦勞、様々な思いを何らかの形で次の世代に伝えねばならない。そして戦没者に恥ずかしくない生き方をし、戦没者が後世の我々に託した平和で繁栄した日本を創造すること、大切な慰霊の一つであると考えられる。また、年配者は、慰霊の意義を自分なりにもう一度認識しなければいけないと思う。

3 戦没者慰霊の風化の危機感

戦没者慰霊の方法は様々である。自治体や関係団体等が戦没者の慰霊碑や墓地等で各種の追悼・慰霊行事を行い、参列者は戦没者を偲ぶ。一般の人も慰霊碑や追悼碑等を随時に参拝し、戦没者を悼む。また自宅の仏壇の前で、戦争で亡くなった先祖の御霊を供養する。しかし慰霊の主体であった遺族会や戦友団体等は、会員の高齢化などで解散する会が相次いでいる。また各地の慰霊顕彰施設は、老朽化などの理由で廃止が増えている。若い人が参加する慰霊行事や訪問する施設が減少し、戦没者慰霊が遠い存在になりつつある。年配者はこのままでは戦争の記憶の風化とともに「慰霊の灯」は消滅し、やがて戦没者は忘れられてしまうという危機感を持つべきである。

4 SNS、動画、デジタルの活用

若い人は、新聞やテレビよりも、SNSや動画で情報を集める人が多い。特にInstagram、X、YouTubeなどの人気が高い。戦没者慰霊に限らず戦争の体験や記憶等を若い人に伝えようとする時に、インターネットは有力なツールとなり得る。例えば、戦友会の「全ソロモン会」では、SNSやインターネットでの情報発信に力を入れた結果、若い世代を中心に会員が増えた。

また新宿の平和祈念展示資料館などの「バーチャル資料館」は、自宅のパソコンなどで疑似的に展示物を見学できる。年配者はSNSや動画をもっと勉強して、慰霊に関する発信力を強化し、若い人の関心や興味を増やす努力が必要だ。また、若い人が興味を抱きやすいデジタル教材を使った教育や見学も大切である。特に最近普及してきたVR(仮想現実)やAR(拡張現実)を活用した教育は、時間と距離を超えて、没入感のある疑似体験ができ、とても印象的で記憶に残る。先人がどのような思いで異国の地で戦い、祖国や家族のことを考えていたかなどを追体験でき、自然と慰霊の気

【佳作】

年配者はいかに戦没者慰霊を若い人に伝えるべきか

無職 69歳 吉永 春雄

1 はじめに

令和7年は戦後80年の節目を迎える。

持ちを育むことができると思う。

5 世代間交流の活性化

ネットやバーチャルな世界の活用を提言したが、リアルな世界に勝るものではない。そこで、年配者は学校教育、地域社会、家庭等において若い人へのアプロ

でも私はスマホを持っていないので父親のスマホを借りてYouTubeを見ている。ある日、寝転んでYouTubeを見ようとしていたら旗が並んだ道に人々がひざ

が浮かんだ。なんて恐ろしいことだろう。そのことを両親に話すと、昔日本も戦争をして一般市民も含めて三百万人も

大切なことだ。無念の思いで死んだ人の気持ちを慰める必要があるからだ。そのためには、やはり小学校からの平

○奉仕会年度会費納入者(団体・個人)(敬称略、順不同) (一社)東京郷友連盟、町田純一、北

○新入会員(敬称略、順不同) ※(正)は正会員、(終)は終身会員、(特)は特別会員

6 おわりに 最後に、「若い人」と「慰霊」というと、国内外の遺骨収集等の事業を献身的に行っているJYMA日本青年遺骨収集

と青色の布はウクライナの国旗だったのだ。ということとは棺の中の人は若い男性兵士であり、村の人たちがお甲いに来て

それ以外の普通の市民や子供はどこに祀られているのだろうか。それは千鳥ヶ淵にある戦没者墓苑なのだという。千鳥

○清掃奉仕(敬称略、順不同) トイレ清掃奉仕会、阿含宗清掃奉仕、櫻晴れ清掃奉仕

○献花台奉仕者(敬称略、順不同) 柴山古流(谷口信甫、谷口秀男、深谷仁甫、里村紀甫、磯村悦甫、小林美智甫、

令和7年7月31日までの受付分を掲載、8月1日以降の受付分は次号に掲載します。

【奨励賞】 「戦没者を慰霊することの大切さと平和を維持するために若者はどうすればいいのか考えた」

私の通っている高校ではスマホの持ち込みが禁止されている。だから私は家でYouTubeを見るのが楽しみだ、といっ

それからはYouTubeを開くたびに同じような映像が何度も出て来て私は怖くなってきた。毎日どこかでお葬式が

終戦80年募金 11,478,000円 累計(7年7月31日現在) 1,132,000円 (6月1日から7月31日の間)

☆募金された皆様(敬称略、順不同) (有)トマス・アンド・アグネス、猪股久岳、重松俊朗、青木政雄、旭爪章統、大前フサ、辻 誠心、

終戦80年募金(継続)のお知らせ 終戦80年募金(千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル(施設・設備等)等のための募金(継続))

「戦没者を慰霊することの大切さと平和を維持するために若者はどうすればいいのか考えた」

私の通っている高校ではスマホの持ち込みが禁止されている。だから私は家でYouTubeを見るのが楽しみだ、といっ

それからはYouTubeを開くたびに同じような映像が何度も出て来て私は怖くなってきた。毎日どこかでお葬式が

終戦80年募金 11,478,000円 累計(7年7月31日現在) 1,132,000円 (6月1日から7月31日の間)

☆募金された皆様(敬称略、順不同) (有)トマス・アンド・アグネス、猪股久岳、重松俊朗、青木政雄、旭爪章統、大前フサ、辻 誠心、

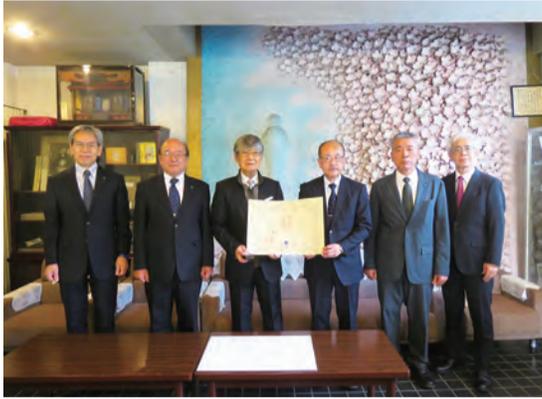
終戦80年募金(継続)のお知らせ 終戦80年募金(千鳥ヶ淵戦没者墓苑のリニューアル(施設・設備等)等のための募金(継続))



理事長から渡邊氏(右)へ同褒章の伝達

「紺綬褒章」の受章
東京都在住の渡邊榮三郎氏は、(公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会への多額の寄附により令和7年5月24日、天皇陛下から「紺綬褒章」を授与された。当奉仕会が紺綬褒章の公益団体認定を令和4年9月20日に受けてから3人目の受章となった。

7月2日に墓苑事務所内において奉仕会保松理事長から渡邊氏へ同褒章の伝達が行われた。
紺綬褒章とは、国の褒章制度のひとつで、公益のために私財(個人であれば年間500万円以上、団体であれば1000万円以上)を寄附した方に授与される褒章。予め申し出た分納による寄附も含まれる。



受章に伴う記念写真

終戦80年事業 記念講演会

「戦争の記憶」を伝えるということ
～戦争の風化を防ぎ、平和の尊さを誓う～

終戦80年の節目に参加者特に若い世代に、ビルマ作戦の現地戦跡研究の発表を通じ、当時の日本陸軍兵士たちが経験した労苦の一端を紹介し、戦没者慰霊の想いを新たにするとともに、平和の尊さを誓う。

- * 令和7年11月16日(日) 13時～15時 参加無料
- * 定員: 50名、事前申込(11月7日まで)
- * 講師: 藤原 淑子(ビルマ戦第49師団歩兵第168連隊 遺族世話人代表、高野山ビルマなごみの会 戦没者慰霊 世話人)
- * コメンテーター: 関口 高史(NHKスペシャル、同歴史秘話ヒストリアの番組に解説者(軍事考証、時代考証)として多数出演)
- * 会場: 千鳥ヶ淵戦没者墓苑 会議室
- * 主催: (公財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
東京都千代田区三番町2 TEL: 03-3261-6700
- * お申込み方法: お名前・職業・電話番号・メールアドレスを記載のうえ、メール: c-houshikai@boen.or.jp までメールにて事前申し込み(11月7日まで)をお願いします。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。詳細は当墓苑HPにも掲載。

墓苑便り(奉仕会だより)

9～10月の献花の予定

古流松瀬会	石井 理顕
駿東流	小泉 恵華
柴山古流・縁山流	井上 冷美
古流正華道	芦沢 千啓
京葉古流	小浦 一條
古流桜会	川合 理千
柴山古流・縁山流	沼田 冷笑
遠州流一森会	名鏡 一玲

千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季慰霊祭 参列のお知らせ

※10月17日(金) 秋季慰霊祭に参列を希望される会員の皆様へ
会員の皆様には、本年も参列規模拡大に伴う円滑な受付業務のため、参列を希望される方は左記の要領により申し込み頂きたく存じます。なお、昨年参列頂いた会員の方には9月上旬頃にご案内状を郵送させていただきます。

記

往復ハガキに
・氏名(ふりがな)・連絡先(郵便番号、住所及び電話番号)
・同伴者がある場合は(3名以内)
・同伴者の氏名(ふりがな)と各人毎の連絡先(郵便番号、住所及び電話番号)を明記の上、受付開始9月10日から9月末日(必着)までの間に奉仕会宛にお申し込み下さい。
返信ハガキには受付番号を記載して返送いたします。当日、ご携行ください。
なお、応募総数が100名を超える場合は抽選によります。



宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人 **日本宝くじ協会**
https://jla-takarakuji.or.jp/



この刊行物は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。